

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 敬語の種類を答えよ。

帝、御文書かせたまふ。

Q2. 種類を答えよ。

御文を奉る。

Q3. 種類を答えよ。

「これは尊し」と申す。

Q4. 種類を答えよ。

我れも参り侍り。

Q5. 種類を答えよ。

中宮、御覧ず。

Q6. 種類を答えよ。

御所に参る。

Q7. 種類を答えよ。

法皇、御幸おはす。

Q8. 種類を答えよ。

君に仕うまつる。

Q9. 種類を答えよ。

物侍り。

Q10. 種類を答えよ。

上、仰せらる。

Q11. 種類を答えよ。

大納言、御前に候ふ。

Q12. 種類を答えよ。

帝、御物の怪に苦しませたまふ。

Q13. 種類を答えよ。

我れ、御前にまうづ。

Q14. 種類を答えよ。

院、大殿籠る。

Q15. 種類を答えよ。

御物を賜ふ（下二段）。

Q16. 種類を答えよ。

「いま参り候ふ」と申す。

Q17. 種類を答えよ。

御簾を上げさせたまふ。

Q18. 種類を答えよ。

御文を奉る。

Q19. 種類を答えよ。

御前に侍ふ。

Q20. 種類を答えよ。

帝、思しめす。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 種類と敬意の対象を答えよ。

中宮、御文を奉る。

Q22. 種類と敬意の対象を答えよ。

中宮、御文奉りたまふ。

Q23. 種類を答えよ。

「我れも参り侍りぬ」と申す。

Q24. 種類を答えよ。

帝、御簾を上げさせたまふ。

Q25. 種類を答えよ。

御供に仕うまつる。

Q26. 種類を答えよ。

いと尊くおはします。

Q27. 種類を答えよ。

御物をたまはる。

Q28. 種類を答えよ。

「いとあはれなり」と仰せらる。

Q29. 種類を答えよ。

御前に候ひけり。

Q30. 種類を答えよ。

中宮、御文を賜ふ (四段)。

Q31. 種類を答えよ。

文を奉りたまふ。

Q32. 種類を答えよ。

帝、御簾の中に入らせたまふ。

Q33. 種類を答えよ。

御前に参り侍り。

Q34. 種類を答えよ。

御物を召す。

Q35. 種類を答えよ。

「行く」をまうづ。

Q36. 種類を答えよ。

院、御覧ぜさす。

Q37. 種類を答えよ。

御文をたてまつる。

Q38. 種類を答えよ。

御台ばかり侍り。

Q39. 種類を答えよ。

中宮、御文を御覧ず。

Q40. 種類を答えよ。

御父にまゐる。

Q41. 種類を答えよ。

君、おぼしわづらふ。

Q42. 種類を答えよ。

さぶらふ人召せ。

Q43. 種類を答えよ。

我れ、御いとまたまはる。

Q44. 種類を答えよ。

帝、思しめしたり。

Q45. 種類を答えよ。

御文を書きまゐらす。

Q46. 種類を答えよ。

御供に候ひたまふ。

Q47. 種類を答えよ。

御所にまゐりたり。

Q48. 種類を答えよ。

帝、御簾を召したまふ。

Q49. 種類を答えよ。

「侍に候ふは誰ぞ」と仰す。

Q50. 種類を答えよ。

我れ、御文をまゐらす。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

Q51. 敬意の方向（誰から誰へ）を答えよ。

大臣、帝に文を奉りたまふ。

Q52. 敬意の方向を答えよ。

中宮、御文を御覧じたまふ。

Q53. 敬意の方向を答えよ。

「我れ、参り侍り」と申す。

Q54. 種類を答えよ。

帝、御心を思しめさせたまふ。

Q55. 種類を答えよ。

中宮、おはしましけり。

Q56. 種類を答えよ。

「おそろし」とおぼしたまふ。

Q57. 種類を答えよ。

御簾の前にさぶらひたまふ。

Q58. 種類を答えよ。

「これは尊し」と申したまふ。

Q59. 種類を答えよ。

御たよりにたまはせたり。

Q60. 種類を答えよ。

帝、仰せ言たまふ。

Q61. 敬意の方向を答えよ。

「君にさぶらはむ」と申す。

Q62. 種類を答えよ。

御けしきをたまはらむ。

Q63. 種類を答えよ。

「御文を奉りつ」と申し侍り。

Q64. 種類を答えよ。

帝、御目にて御覧じたまふ。

Q65. 種類を答えよ。

中宮まりりたまへり。

Q66. 種類を答えよ。

「御文たてまつりたまへ」と仰す。

Q67. 種類を答えよ。

帝、御覧ぜさせたまふ。

Q68. 種類を答えよ。

御供にさぶらひ侍り。

Q69. 種類を答えよ。

「これを召したまへ」と申す。

Q70. 種類を答えよ。

御おもてをまもりたまふ。

Q71. 種類を答えよ。

御文を奉せたまふ。

Q72. 種類を答えよ。

御祈りせせたまふ。

Q73. 種類を答えよ。

「行く」と申したまへり。

Q74. 種類を答えよ。

御物を奉らす。

Q75. 種類を答えよ。

中宮、御心をおぼしめせたまふ。

Q76. 種類を答えよ。

御簾の内にさぶらはせたまふ。

Q77. 種類を答えよ。

「君にまうすべきこと侍り」と言ふ。

Q78. 種類を答えよ。

帝、御物の怪に苦しめたまふ。

Q79. 種類を答えよ。

御気色をたまはりたり。

Q80. 敬意の方向を答えよ。

「我れ、御供にまゐらむ」と申し侍り。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 種類を答えよ。

帝に奏す。

Q82. 種類を答えよ。

中宮・東宮に啓す。

Q83. 種類を答えよ。

帝、御簾を上げせたまふ。

Q84. 種類を答えよ。

「しろしめすところなり」と申す。

Q85. 種類を答えよ。

「あな尊」とのたまふ。

Q86. 種類を答えよ。

御命をたてまつる。

Q87. 種類を答えよ。

院、おはしましぬ。

Q88. 種類を答えよ。

御衣をたまはす。

Q89. 種類を答えよ。

「君のあれば」とのたまはせたり。

Q90. 種類を答えよ。

院、御心を思ほしたり。

Q91. 種類を答えよ。

「御文をけいす」と申す。

Q92. 種類を答えよ。

御かしらおろしたまふ。

Q93. 種類を答えよ。

御物の怪にわづらはせたまふ。

Q94. 種類を答えよ。

「御文をたてまつらせたまへ」と申す。

Q95. 種類を答えよ。

我れ、つかうまつり侍る。

Q96. 種類を答えよ。

御心をまどはせたまふ。

Q97. 種類を答えよ。

御目見たまふ。

Q98. 種類を答えよ。

帝、しろしめしたり。

Q99. 種類を答えよ。

御供にひかへ侍り。

Q100. 次の文中のすべての敬語の種類を答えよ。

中宮、御文を御覧じ、「あはれ」と仰せられけるに、御供の人奉り、まゐらせ侍りき。